

3 家庭との連携

栄養教諭、養護教諭と学級担任が家庭との連携を図り、栄養バランスや生活習慣の改善を目指し、肥満傾向生徒への『個別指導』を実施しました。

【該当生徒7名中3名の肥満度が改善】

4 学校給食を生きた教材として活用した食育の実践

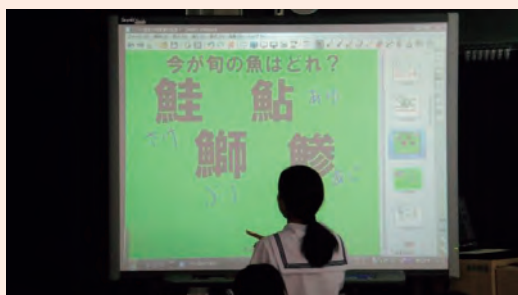
上記1～3の課題解決に加え、栄養教諭を中心に学校教育活動全体を通して取り組みました。また、『ちょこっと食育』として、教科学習の中に、「ちょこっと」だけ食育の内容を盛り込み、生徒の関心・意欲を高めました。さらに、学年委員会において学年全体の身近な食生活の課題を見つけ、生徒たち自身で課題の解決を図る『生徒の主体的活動』を実施しました。

○『ちょこっと食育』を実施した学年・教科

1年……理科

2年……国語、社会、数学、理科、英語、美術、保健体育、家庭

個別学級……自立活動



ちょこっと食育（社会）



ちょこっと食育（英語）

○生徒の主体的活動の取組の一部

- ・今日の献立における「主食・主菜・副菜」の確認の呼びかけ
- ・給食の残量減少への調査、呼びかけ
- ・集会での手洗いの呼びかけ



学年委員会での呼びかけ

生徒の食生活への意識の変容を促した
「食生活チェックリスト」



稲美町のHPにて事業内容を周知
(本校のHPよりリンク可)

※『 』囲みは、食育実践プログラム名